

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-111370(P2007-111370A)  
 【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-017  
 【出願番号】特願2005-307745(P2005-307745)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部に絵柄を変動表示する絵柄表示手段と、

作動条件成立を検出する作動検出手段と、

前記作動条件成立に基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段の抽選結果に基づいて前記絵柄の変動表示を行うと共に、前記抽選手段の抽選結果が前記特別遊技状態当選の場合には、前記絵柄が特定絵柄で停止するよう前記絵柄表示手段を表示制御する表示制御手段と、

前記抽選手段の抽選結果が前記特別遊技状態当選であって、前記絵柄の変動表示が終了した場合に、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段とを備えた遊技機において、

遊技領域に設けられると共に、遊技球が入球し易い開放状態とその開放状態より入球しにくい閉鎖状態とに切り換え可能な複数の可変入球手段と、

各可変入球手段に遊技球が入球したことを検出する入球検出手段と、

可変入球手段のいずれかに遊技球が入球した場合、入球した可変入球手段に応じて異なる特典を遊技者に付与する特典付与手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態に移行した場合、前記可変入球手段の全てが閉鎖状態にある状況下でいずれかの可変入球手段を開放状態に切り換える開放制御を行う開放制御手段と、

該開放制御手段が開放制御を開始してから規定時間が経過した場合、又は開放制御中の可変入球手段に規定数の遊技球が入球した場合に、当該可変入球手段を閉鎖状態に切り換える閉鎖制御を行う閉鎖制御手段と、

前記各可変入球手段の開閉回数の合計が特定回数となるように、前記特別遊技状態下における可変入球手段の開閉態様を設定する開閉態様設定手段と、

前記開閉態様設定手段の設定した開閉態様に基づいて、次の開放制御が行われる可変入球手段を把握する開閉態様把握手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態に移行した場合、少なくとも前記各可変入球手段の開閉回数の合計が前記特定回数となるまで、特別遊技状態演出を行うよう前記絵柄表示手段を演

出制御する演出制御手段と  
を備え、

前記演出制御手段は、前記可変入球手段のいずれかが開放制御されている場合、前記入球検出手段が前記遊技球の入球を検出した回数に基づいて、前記開閉態様把握手段の把握結果に応じた表示演出に変更する演出変更手段を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記演出変更手段は、前記表示演出を行うための演出データを予め複数記憶する演出データ記憶手段と、前記複数の演出データから 1 つの演出データを選択する演出データ選択手段と、該演出データ選択手段の選択した演出データを前記絵柄表示手段に出力することにより、前記演出データと対応する表示演出を前記絵柄表示手段に行わせる演出データ出力手段とを備え、前記演出データ選択手段は、予め定めた所定数の遊技球が開放制御中の可変入球手段に入球した場合に、前記開閉態様把握手段の把握結果に応じて前記演出データの選択を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技を統括管理すると共に前記開放制御手段及び前記閉鎖制御手段を備える主制御手段と、前記演出制御手段を備える表示制御手段を備え、

前記入球検出手段は、前記可変入球手段に遊技球が入球したことを検出した場合、入球検出信号を前記主制御手段に送信し、

前記主制御手段は、前記入球検出信号を受信する毎に前記表示制御手段に対して入球報告指令を送信することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記演出変更手段は、前記入球報告指令の受信に基づいて、前記開放制御中の可変入球手段に入球した遊技球数を把握する入球数把握手段と、該入球数把握手段の把握する遊技球数が前記所定数と一致するか否かを判定する判定手段とを備え、前記演出データ選択手段は、前記判定手段が一致すると判定した場合に、前記開閉態様把握手段の把握結果に応じて前記演出データの選択を行うことを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

遊技を統括管理すると共に前記開放制御手段及び前記閉鎖制御手段を備える主制御手段と、前記演出制御手段を備える表示制御手段を備え、

前記入球検出手段を、前記可変入球手段に遊技球が入球したことを検出した場合、入球検出信号を前記主制御手段に送信する構成とし、

前記主制御手段は、

前記入球検出信号の受信に基づいて、前記開放制御中の可変入球手段に入球した遊技球数を把握する入球数把握手段と、該入球数把握手段の把握する遊技球数が前記所定数と一致するか否かを判定する判定手段とを備え、該判定手段が一致する判定をした場合に、前記表示制御手段に対して入球報告指令を送信することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記所定数を予め複数設定すると共に、前記演出データ選択手段は、開放制御中の可変入球手段に入球した遊技球数が前記各所定数と一致する毎に、前記開閉態様把握手段の把握結果に応じて前記演出データの選択を行うことを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記演出データ選択手段は、前記開放制御手段が前記開放制御を開始した場合に、前記開閉態様把握手段の把握結果に関わらず同じ演出データを選択することを特徴とする請求項 2 乃至 6 のいずれか 1 に記載の遊技機。